

## 令和6年度（第49回）県内工業高校建築設計卒業創作展の受賞者

この創作展は、（一社）大分県建築士事務所協会が主催し、大分県教育委員会の講演をいただき、県内の工業高校で学ぶ学生を対象として、建築を通じて夢を創造させ、建築技術者として将来の夢を育んでもらうことを目的に、昭和51年から続けられており、今回で49回となる伝統的な顕彰制度です。

本年（令和7年）は、当協会が創立60周年を迎えるにあたり「創立記念設計コンペ」も実施することにしております。

### 今回の課題は、「おおいたの家～その新しい姿」

日本の近年の住まいは、仕事場とは切り離された家庭生活の場として、主として核家族を想定した住まいを中心に、その形態が計画されてきました。その一般的な姿がnLDK型（nは個室数、LDKは居間食堂台所）の住まいと言えるでしょう。

しかし、今様々な変化の波が押し寄せています。一方では少子高齢化による人口減少が社会構造や家族構成のあり方を変えようとしています。他方ではパンデミックを一つの契機としてICT、デジタル技術が社会の中に浸透し、DX（デジタルトランスフォーメーション）の進行が私たちの生活のあり方を変えつつあります。さらに地球環境の持続性への観点からGX（グリーントランスフォーメーション）も求められています。

そこで、こうした変化のどれかに注目し、それに対応する住まいの形を大分の地で提案してください。例えば、増加する高齢者世帯と若年世代の交流の可能な新たな「シェアハウス」、そこでは地域的な子育て支援なども考えられるかもしれません。

また、その地方の産業や都市的状況にふさわしい形で仕事場とつながった新たな住まいの形態、さらに最新の（あるいは今後可能となる）デジタル技術を活用した豊かな生活空間など……。

いずれにせよ、大分のそれぞれの場所にふさわしい形で、現代の変化に対応した住まいの新しい姿の提案を期待します。

上記の課題に対し、県内3つの工業高校から選出された16作品の中から、

審査委員長：日本文理大学（島岡成治教授）

審査委員：大分大学（柴田建准教授）、（公社）大分県建築士会（幸勝美会長）  
大分県教育庁教育財務課（深藏亮一課長）、

大分県土木建築部（伊東幸子建築住宅課長、後藤憲二施設整備課長）  
当協会（仲摩和雄会長、河村晃文副会長）

により審査が行われた結果、以下の方々が受賞されました。

○ 最優秀賞（大分県教育委員会教育長賞）

大分県立大分工業高等学校 神田 悠希 さん （共同制作）

〃 宮下 琴衣 さん （共同制作）

○ 優秀賞

大分県立大分工業高等学校 大久保光海 さん

大分県立鶴崎工業高等学校 安永 翔 さん （共同制作）

〃 蒲池 彩人 さん （共同制作）

○ 佳作

大分県立日田林工高等学校 財津 成志 さん

大分県立大分工業高等学校 金崎 まい さん

大分県立大分工業高等学校 但馬 拓峻 さん （共同制作）

〃 佐藤 永樹 さん （共同制作）

大分県立大分工業高等学校 安部 遥都 さん （共同制作）

〃 笠井 優那 さん （共同制作）